

総合計画前期計画点検シート

専門部会名 市民生活環境部会

担当部局名 市民部 環境生活課

基本目標	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり	
主要施策名	環境との共生	
施策の基本的な考え方 (総計記載事項を要約して記入してください。)	・良好な自然環境の保全、環境汚染の防止など環境への配慮を行うとともに、複雑、多様化する環境問題に対応する施策を進めます。	
	・快適で衛生的な市民生活を堅持するため、施設の計画的な維持管理を行い、ゆとりや、やすらぎのある環境空間をつくります。	
前期計画の取組状況	・名寄市の環境状態を把握し、市民や事業者が環境負荷の少ない生活を心がける。	
	主な前期事業(当初) ※前期・後期	主な前期事業(実績)
	①緑丘霊園管理棟建設事業	
②風連中央墓地新区画造成事業		
③環境基本条例等策定事業		
④※名風聖苑維持管理事業	名風聖苑維持管理事業	
前期計画の成果と課題		
後期計画の考え方 (前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項などを記載してください。)	①②については、残区画数が多いため、今後の推移をみて実施(別添資料)	
	名風聖苑維持管理事業については、供用開始後20年が経過し、計画的な補修を実施していきます。	

※各項目は簡潔に記入してください。

※取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。

総合計画前期計画点検シート

専門部会名 市民生活環境部会

担当部局名 市民部 環境生活課

基本目標	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり	
主要施策名	循環型社会の形成	
施策の基本的な考え方 (総計記載事項を要約して記入してください。)	・環境負荷の少ない社会を構築するために、市民、事業者、行政が役割分担し、協働して取り組みを進めます。	
	・ごみの減量化(3Rの推進)、最終処分場の適正な運営を図り、環境美化に対する意識を高めることは住みよいまちづくりにつながります。	
前期計画の取組状況		
	主な前期事業(当初) ※前期・後期	主な前期事業(実績)
	①※資源集団回収奨励金事業	資源集団回収奨励金事業
	②※分別・資源化啓発事業	分別・資源化啓発事業
	③※炭化センター、衛生センター維持管理費負担事業	炭化センター、衛生センター維持管理費負担事業
④※塵芥収集車両等整備事業		
⑤※内淵最終処分場整備事業		
⑥※不法投棄・野焼き防止啓発事業	不法投棄・野焼き防止啓発事業	
前期計画の成果と課題	①②により、ごみの減量化を図ってきました。	
	(古着、廃食用油の回収・リサイクル、マイバッグ持参推進)	
	最終処分場に炭化ごみ(生ごみ)が混入しているため、さらに啓発活動を実施	
	④H23年度ブルドーザー購入	
後期計画の考え方 (前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項などを記載してください。)	廃棄物の処理にあたっては、3R(排出抑制、再利用、再資源化)を図り、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減します。	
	・資源集団回収奨励金事業、分別・資源化啓発事業は継続して行います。	
	・内淵最終処分場については、残余容量調査を行い、新処分場の建設整備について、近隣市町村と広域設置の検討を進めます。	
	○小動物焼却処理施設建設事業については、現在、市内民間2業者が事業を行っており、名寄市が建設する必要性はない。	

※各項目は簡潔に記入してください。

※取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。

総合計画前期計画点検シート

専門部会名 市民生活環境部会 担当部局名 消防

基本目標	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり																
主要施策名	消防																
施策の基本的な考え方 (総計記載事項を要約して記入してください。)	地域防災の要として、住民ニーズに迅速・的確に対応できる組織・出動体制の整備を図るとともに、消防活動及び救急・救助活動、安心できる予防体制を整備し、将来を見据えた消防行政の推進に努めます。																
前期計画の取組状況	合併に伴い、名寄地区・風連地区の災害受理の一元化を名寄消防署本署にて行い、風連出張所の勤務体制、出動体制の見直し及び各種災害時に必要な、消防職員・団員の召集体制の強化を実現させる。 さらに、防災の拠点と位置づけられる消防庁舎が機能するよう、施設・設備の整備を行う。																
	主な前期事業（当初）	主な前期事業（実績）															
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防サイレン制御装置更新事業 ・ 消防通信指令装置更新事業 ・ 消防庁舎施設整備事業 ・ 火災調査車更新事業 ・ 消火栓更新事業 ・ 災害時要援護者緊急通報システム端末装置整備事業 	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">緊急通報システム端末</td> <td style="text-align: right;">7,444 千円</td> </tr> <tr> <td>防火衣更新事業</td> <td style="text-align: right;">9,021 千円</td> </tr> <tr> <td>火災調査車更新事業</td> <td style="text-align: right;">4,893 千円</td> </tr> <tr> <td>サイレン制御装置更新</td> <td style="text-align: right;">9,198 千円</td> </tr> <tr> <td>通信指令装置更新</td> <td style="text-align: right;">61,313 千円</td> </tr> <tr> <td>消防庁舎施設整備事業</td> <td style="text-align: right;">36,005 千円</td> </tr> <tr> <td>非常用自家発電設備</td> <td style="text-align: right;">21,578 千円</td> </tr> <tr> <td>救急自動車更新 (H23)</td> <td></td> </tr> </table>	緊急通報システム端末	7,444 千円	防火衣更新事業	9,021 千円	火災調査車更新事業	4,893 千円	サイレン制御装置更新	9,198 千円	通信指令装置更新	61,313 千円	消防庁舎施設整備事業	36,005 千円	非常用自家発電設備	21,578 千円	救急自動車更新 (H23)
緊急通報システム端末	7,444 千円																
防火衣更新事業	9,021 千円																
火災調査車更新事業	4,893 千円																
サイレン制御装置更新	9,198 千円																
通信指令装置更新	61,313 千円																
消防庁舎施設整備事業	36,005 千円																
非常用自家発電設備	21,578 千円																
救急自動車更新 (H23)																	
前期計画の成果と課題	<p>通信指令装置導入により、迅速・確実な災害地点の確定が可能となり、風連出張所への出動指令がスムーズに行える。</p> <p>また、老朽化した消防設備の更新と非常用自家発電設備の導入により、各種災害に対する活動の信頼性が向上し、更に地域の安全・安心に応えることができる。</p>																
後期計画の考え方 (前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項など記載してください。)	<p>風連地区の消火栓、各消防団車両等の老朽化が進み計画的な更新が求められるとともに、複雑多様化する各種災害に的確に対応するため、救助工作車及び訓練施設の整備が必要です。</p> <p>さらに、電波法関係審査基準の改正に伴い、平成28年5月31日までに消防・救急無線をアナログからデジタル化に移行しなければなりません。</p>																

※ 各項目は簡潔に記入してください。

※ 取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※ 主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。

総合計画前期計画点検シート

専門部会名 市民生活環境部会 担当部局名 環境生活課

基本目標	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり	
主要施策名	交通安全	
施策の基本的な考え方 (総計記載事項を要約して記入してください。)	<p>名寄市交通安全運動推進委員会を中心として、各関係機関との連携のもと、交通安全意識の普及啓発に努めます。</p> <p>交通安全指導員等を中心とした街頭指導・交通事故防止に向けた資材配布など、交通安全運動を生涯学習活動と位置づけ、各種活動を実施します。</p>	
前期計画の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関と連携した交通安全対策としては、期別運動（4期40日）、独自運動（2期20日）を中心として、街頭啓発、事業所訪問、車両パレード、飲酒運転追放宣言大会、安全運転者研修会、パトライト作戦、交通安全旗・夜光反射材配布等を実施しました。 ・交通安全教育として、各幼稚園のこぐまクラブ、各学校の青空教室、町内会・老人クラブ等の交通安全教室を実施しました。 ・市道の舗装・補修工事、照明灯設置、中央線・外側線等の改修を実施して道路の環境整備を実施しました。 	
	主な前期事業（当初）	主な前期事業（実績）
	交通安全教育（幼児交通安全教育等） 道路中央線（白線）等改修事	交通安全教育（幼児交通安全教育等） 道路中央線（白線）等改修事業
前期計画の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の自動車保有台数、運転免許保有者は、5年前から横ばい傾向にあり、交通事故状況は、平成18年～平成22年の平均では、発生が51件、負傷者が59人、物損が675件でした。発生件数・負傷者数は減る傾向にあり、21・22年と2年連続交通死亡事故ゼロを達成し、旧名寄市における交通死亡事故ゼロの最長記録848日を更新中です。 ・交通安全運動は、街頭啓発、広報活動等、関係機関・団体・地域がさまざまな活動を展開しており、今後も相互に協力して交通安全意識の向上を図ることが必要です。 	
後期計画の考え方 (前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項など記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教育（幼児交通安全教育等）、道路中央線（白線）等改修事業は継続する必要があります。 	

※ 各項目は簡潔に記入してください。

※ 取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※ 主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。

総合計画前期計画点検シート

専門部会名 市民生活環境部会 担当部局名 環境生活課

基本目標	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり	
主要施策名	生活安全	
施策の基本的な考え方 (総計記載事項を要約して記入してください。)	<p>市民の安全を確保するため、関係機関・団体などと連携し、適切な情報の提供に努めます。</p> <p>地域に密着した対策の強化を図るとともに、防犯意識の高揚、防犯灯の設置など、幅広い取り組みを進めます。</p>	
前期計画の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者情報が発信された場合は、市ホームページに掲載し、青色回転灯装備車(市庁用車8台)及び「防犯パトロール実施中」ステッカー掲載車(市庁用車30台)の出動を要請してきました。 ・市で設置した「こども110番の家」(公共施設等59か所)のほか、各小学校単位の安全安心会議が「SOSの家」ステッカー、理容店、ガソリンスタンド、整骨院等が防犯ステーションを設けています。 ・安全安心円卓会議(平成17年設置)、名寄市安全安心地域づくり推進協議会(平成22年設置)等の開催により、関係機関の情報交換を図り必要な対策を協議しています。 	
	主な前期事業(当初)	主な前期事業(実績)
	迅速・正確な情報の提供(市ホームページ・不審者情報) 地域・関係機関と連携した啓発活動 安全対策(安全・安心円卓会議等)	迅速・正確な情報の提供(市ホームページ・不審者情報) 地域・関係機関と連携した啓発活動 安全対策(安全・安心円卓会議等)
前期計画の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・名寄警察署管内の刑法犯認知件数は、平成17年～平成21年の平均では、209件です。平成21年は192件と僅かに減少しました。その内訳は、窃盗犯が77%でした。 ・複雑化・多様化する社会において、予期せぬ問題や事件・事故が全国いたるところで発生しており、関係機関等と連携し、地域ぐるみの防犯活動を進めることが必要です。 	
後期計画の考え方 (前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項など記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速・正確な情報の提供(市ホームページ・不審者情報)、地域・関係機関と連携した啓発活動安全対策(安全・安心円卓会議等)は、継続する必要があります。 	

※ 各項目は簡潔に記入してください。

※ 取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※ 主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。

総合計画前期計画点検シート

専門部会名 市民生活環境部会 担当部局名 環境生活課

基本目標	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり	
主要施策名	消費生活の安定	
<p>施策の基本的な考え方</p> <p>(総計記載事項を要約して記入してください。)</p>	<p>消費者の利益を守るため、国民生活センターなどと連携し、適切な情報を提供します。</p> <p>被害やトラブルを未然に防止するため、消費者センター機能を強化し、消費者教育、情報提供、団体活動の支援など総合的な消費生活の安定を目指します。</p>	
前期計画の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者センターの相談件数は、平成18年度～平成22年度の平均では、288件でした。「特定商取引法」「割賦販売法」「貸金業法」などの改正により、過量販売の禁止、支払い能力を超えるクレジット契約の防止等が図られ相談件数は減少傾向でしたが、インターネットや携帯電話の通信サービス、賃貸契約に関するものが増加しています。 ・平成21年度～平成22年度に北海道消費者行政活性化事業補助金を活用し、相談員の研修機会の充実、消費者向け講演会の開催、啓発パンフレットの配布などを実施しています。 ・市内の小売物価調査、量目調査等は、名寄消費者協会に委託し、その結果は、地方新聞・協会だより等により市民に情報提供しています。 	
	主な前期事業（当初）	主な前期事業（実績）
	<p>消費者相談窓口体制の充実・強化</p> <p>消費者活動団体の支援</p> <p>物価調査と情報提供</p>	<p>消費者相談窓口体制の充実・強化</p> <p>消費者活動団体の支援</p> <p>物価調査と情報提供</p>
前期計画の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活が便利になる反面、多様な商品・サービスが提供されることから、消費者相談は、複雑化・多様化しており、相談員研修の充実を図り、適切な情報の発信、消費者教育、相談業務の充実に努める必要があります。 ・定住自立圏構想の一環として、消費者相談業務の広域化が検討されており、関係市町村と協議をしていく必要があります。 	
<p>後期計画の考え方</p> <p>(前期計画の変更、追加、廃止など見直しが必要と考える事項、後期計画の課題となる事項など記載してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者相談窓口体制の充実・強化、消費者活動団体の支援、物価調査と情報提供は、継続する必要があります。 	

※ 各項目は簡潔に記入してください。

※ 取り組みや成果など数値化できるものは数値を用いてください。

※ 主要施策の内容が多岐にわたる場合は、細分化して複数枚としてください。